

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスヒトツナ北越谷教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2 月 1 日		～ 2025年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2025年 2 月 1 日		～ 2025年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3 月 18 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもは安心感をもって通所している。	・その日の状態を随時職員間で共有している。 ・本人にとって無理な通所は避けるように提案。 ・興味を広げる活動の立案や環境づくり。 ・好きなこと、得意なことを伸ばせる環境づくり。 ・LABO会議の開催。・特性を考慮した活動立案。	・新年度に向けた環境作り。 ・興味への聞き取り。 ・子ども達の意見を聞く機会の増加。 ・保護者からの意見や相談に対してすぐに対応する体制を整える。
2	・子どもたちへの支援の統一化。 ・その子にとって適切な支援の提供。	・日々の振りかえり。 ・全職員が意見を出すことで支援の方向性の統一化を図っている。 ・支援計画作成の時間確保と支援内容の共有の徹底。	・ミーティングで意見が出しやすい質問方法や形の工夫。 ・アセスメント、環境、支援について、いつでもだれでも意見を言える環境づくり。・支援目標の見える化。 ・全職員の支援の統一化の為に話合いの時間確保を継続していく。
3	・生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっている。 ・生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	・活動スペースを養生テープ、椅子、テーブルなどで構造化し、エリアを分けしている。 ・子ども達の安心安全を保つ為に、クールダウンや遊びで個室、ベランダを使用している。 ・日々の清掃、消毒を行い、定期的な床のクリーニングや空調設備にも配慮している。	・引き続き心地よく過ごせる生活空間を目指して環境整備に取り組む。 ・新年度に向けても環境設定をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援の充実。 ・きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるといった支援内容。	・保護者会開催はしたものの参加率が低い。 ・職員の人員確保と会場確保。 ・保護者の参加を考慮したイベント企画。 ・きょうだい支援ニーズの把握不足。	・保護者会開催後はHUGなどによる情報共有の機会をつくる。 ・参加率向上を踏まえた開催日の設定。 ・きょうだい向けイベントのニーズの把握。
2	・関係機関との連携。	・各関係機関との時間確保の難しく調整に時間を要する。 ・日々の業務により優先順位が低くなっている。 ・各関係機関との関係性作りは、利用者の利用頻度によって偏りがある。	・月間業務予定として組み込む。 ・必要な部分には強くアプローチをしていく。 ・各関係機関との友好的な関係を継続していく。
3	・家族に対して家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会の設定。	・参加率向上を踏まえた開催日の設定。 ・職員の人員確保と会場確保。 ・保護者の参加を考慮したイベント企画。 ・きょうだい支援ニーズの把握不足。	・研修動画の視聴。ZOOM開催など参加しやすい内容の提案。 ・相談しやすい ・丁寧な聞き取りト対応。 ・見学や参加可能な活動の立案。